

令和3年度 第2回京都市総合教育会議

# 様々なニーズに応じた 多様な学びの実現について

令和4年2月1日（火）

## **<本日のスライド>**

### **1 本市におけるこれまでの取組**

- (1) 学力保障**
- (2) 特別支援**
- (3) 不登校児童生徒への支援**
- (4) 困難な家庭環境への支援**
- (5) コロナ禍における取組**

### **2 今後の「多様な学び」の在り方**

- (1) ICT機器の更なる活用**
- (2) 多様な学びの場の創出**
- (3) 誰一人取り残さない学力保障の取組**

# 1 本市におけるこれまでの取組

## (1) 学力保障

- 全中学校区における小中一貫教育（平成23年度～）
  - 京都市小中一貫学習支援プログラム  
学習確認プログラム(H18～) ジョイントプログラム(H20～)
  - 保護者・地域との連携による家庭学習支援  
未来スタディーサポート教室「みらスタ」 など
  - G I G Aスクール構想の推進
- etc...

### 令和3年度全国学力・学習状況調査 結果

- ・市立小学校・中学校とも全国平均を上回る結果  
(小は11回連続, 中は7回連続)
  - ・全教科合計 小：政令市1位(※) 中：政令市11位  
(都道府県別で当てはめると, 小：2位 中：9位)
- ※平成30年度調査以来2回目の1位

# 1 本市におけるこれまでの取組

## (2) 特別支援

### ○ 様々なニーズに応える総合支援学校



■ 総合制・地域制への再編  
平成16年4月，小・中学校の子ども，保護者，学校等による幅広い教育的ニーズに対する支援を組織的に行う  
**全国初**の総合制に再編

### ■ 高等部職業学科の設置

総合制・地域制の再編に併せて，就職を希望する生徒や保護者のニーズに応えるため，白河，鳴滝総合支援学校に設置  
(平成28年4月，白河総合東山分校を東山総合支援学校として本校化) 4

# 1 本市におけるこれまでの取組

## (2) 特別支援

○児童生徒・保護者のニーズに応じた看護師の配置（令和3年度）

・総合支援学校：児童生徒 69名※／看護師 24名

※うち58名(84%)が通学（全国平均 約74%）

・小学校：児童生徒 9名／看護師 16名

○医療的ケア（自立活動）担当教員の採用  
令和3年度 2名，令和4年度 1名

○LD等通級指導教室の拡大

通常の学級に在籍しているLD等の支援を必要とする子どもたちを対象とした通級指導教室を小・中学校108校（令和3年度時点）に設置。

→ 設置率政令市トップ，政令市平均の約3倍



12/16北総合支援学校 教育委員視察  
医療的ケア（喀痰吸引 等）の様子

# 1 本市におけるこれまでの取組

## (2) 特別支援

### ○ ICT機器の活用

障害によって、手指を動かしにくいが目は動かせる生徒。視線入力装置によって、視線の動きで端末を操作が可能。自らの意思でページをめくり、読書を楽しむことができるように。

#### スイッチで操作～ゆびで～



麻痺のため、指でタブレット端末でうまくタッチできない生徒でも、スイッチを使ってタブレット端末を操作できる。文字入力アプリを使って、意思表示も可能に。

#### スイッチで操作～視線で～



# 1 本市におけるこれまでの取組

## (3) 不登校児童生徒への支援

| 不登校児童生徒数（令和2年度） |       |
|-----------------|-------|
| 小学校             | 中学校   |
| 593人            | 1204人 |

○ふれあいの杜の開設  
（「ふれあい教室」として平成4年度～）

○不登校特例校の設置  
洛風中学校：平成16年10月開校  
洛友中学校：平成19年4月開校

○スクールカウンセラー  
全市立学校・年間280時間以上の配置（令和2年度達成）

○スクールソーシャルワーカー  
拠点配置校を全中学校区へ拡大（令和元年度達成）

○フリースクール等民間団体との連携      ○学生ボランティア

洛友中学校



「夜間中学（夜間部）」と不登校を経験した生徒が通う「不登校特例校（昼間部）」を併設している全国唯一の学校であり、府内唯一の夜間中学。

# 1 本市におけるこれまでの取組

## (4) 困難な家庭環境への支援

- 小中一貫学習支援プログラム  
要保護・準要保護世帯の児童生徒は**全額公費負担**
- 生活保護世帯等生活困窮世帯の子どもに対する学習支援事業  
(子ども若者はぐくみ局所管)
- ヤングケアラー  
孤独・孤立対策プロジェクトチームが本市独自で実態調査

### 主な調査結果

- ①世話をしている家族がいる  
→ 中学生 5.4%(国5.7%)／高校生 3.5% (国4.1%)
- ②「ヤングケアラー」を聞いたことがある  
→ 中学生 **32.1%**(国15.1%)／高校生 **27.3%**(国12.6%)
- ③誰にも相談したことがない**中高生の約7割「誰かに相談するほどの悩みではない」と回答**

認知度向上  
の必要性

相談しやすい環境づくり

# 1 本市におけるこれまでの取組

## (4) 困難な家庭環境への支援

- 日本語指導を必要とする児童生徒の支援  
配布物の翻訳版作成, 翻訳機の貸出 など

保護者の皆様へ

1人1台GIGA端末をお貸しします

学校と家庭の学びをつなぐため、授業で活用する GIGA 端末を、家庭に持ち帰って家庭学習でも活用します。お子様が安心・安全に GIGA 端末を活用できるようにするため、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

貸出にあたっては、別紙の「京都市立学校学習用コンピュータ等貸出条件」を確認のうえ、「京都市立学校学習用コンピュータ等物品受領書」をご提出いただきます。

1 ご家庭でのルールについて、お子様と話し合ってください

これから様々な学習活動において、GIGA 端末を活用していきます。

お子様が適切に GIGA 端末を家庭でも活用できるよう、この機会に、ご家庭でのルールについて、お子様と話し合ってください。また、お子様の健康のために、「明るさ」「姿勢」「時間」への配慮をお願いします。

＜ご家庭でのルール例＞

- ・部屋の明るさに合わせて、端末の明るさを調整する。
- ・正しい姿勢で、目と GIGA 端末との距離を 30cm 以上離して使う。
- ・学習活動のために、1 時間以内で使う。
- ・30分に1回は20秒以上画面から目を離し、できるだけ遠くを見るなどして、目を休める。
- ・就寝1時間前からは使用を控える。

日本語

Dear Parents/Guardians

We will lend GIGA terminals to everyone (1人1台GIGA端末をお貸しします)

We will use GIGA terminal, which is being used at classroom, for home learning by taking it to home to connect learning between school and home. We request your cooperation so that children can use GIGA terminal safely.

Upon lending, we will request you to submit "Receipt of articles of Kyoto municipal school computer for study" after confirming "Lending conditions of Kyoto municipal school computer for study".

1 Please talk with your child about the rule at home.

We will use GIGA terminal on various learning occasions from now.

Please talk with your child about rules at home on this opportunity so that they can use GIGA terminal properly at home. For your child's health, please pay attentions on "Brightness", "Posture", and "Time".

＜Examples of rule at home＞

- ・Adjust brightness according to room illumination.
- ・Right posture, and keep more than 30 cm between eyes and GIGA terminal.

英語

致各位家长

借给每人一台GIGA终端机

为连接学校与家庭的学习，在课堂上使用的 GIGA 终端机，可带回家在家中学习时使用。为了孩子能安心・安全使用终端机，希望各位家长给与大力协助。

关于借出事宜，请在确认「京都市立学校学习用电脑等借出条件」的基础上，提交「京都市立学校学习用电脑等物品领受书」。

1 请家长与孩子讨论，家中使用规则

在今后的各种各样的学习活动中，将会充分的活用 GIGA 终端机。

为帮助孩子能在家中更好的使用，利用这个机会，请与孩子讨论，在家中使用的规则。另外，为了孩子的健康，请关注「明亮度」「姿势」「时间」。

＜在家中使用时规则＞

- ・按照房间的亮度，调节终端机的亮度。
- ・正确的使用姿势，眼睛与终端机的距离在 30cm 以上。

中国語

フィリピン語の翻訳版も作成

# 1 本市におけるこれまでの取組

## (5) コロナ禍における取組

### ○臨時休業時における学習保障

オンライン授業の実施に加え，学校ホームページでの家庭学習課題の提示，各教科の学習動画を配信

#### 市立中学校の事例（オンライン授業）

- ・新型コロナ陽性者の判明に伴い  
全学年が臨時休業
- ・計3日間オンライン授業を実施  
1 時間目（10:30～11:10）  
2 時間目（13:30～14:10）
- ・上記以外の時間は家庭学習  
家庭学習課題は学校HPで提示  
各家庭でダウンロードが可能

PC端末のカメラで板書を撮影し，  
授業風景をライブで配信



## 2 今後の多様な学びの在り方

### (1) ICT機器の更なる活用

- 平常時における積極的な活用
- コロナ陽性判明による休校・学級閉鎖時の活用
- 特別支援・不登校児童生徒等への支援
- 教職員の校務効率化・働き方改革



デジタルドリル  
(個別学習)

児童生徒の状況に  
応じて各ツールを  
柔軟に活用

授業支援ソフト  
(協働学習)

Zoom等のテレビ会議システム  
(緊急時の学習保障等)

→ 各取組の前提として、児童生徒・教職員が適切にICTを活用できるための情報リテラシー育成が必要

## 2 今後の多様な学びの在り方

### (2) 多様な学びの場の創出

- 京都奏和高等学校 開校(R3.4)  
「学び直し」を求めている生徒のニーズに応える教育の実践

- ・3修制と4修制を選択できる4部を設置
- ・中学校での学びを確認する「ランアップ(学びなおし)」の時間を年度当初に設定するなど、奏和高校ならではの教育実践

- 増加する総合支援学校の児童生徒への対応  
H16 582名 → H23 772名 → H28 782名  
→ R3 815名

- ・呉竹総合支援学校，西総合支援学校の増築
- ・北総合支援学校の分校設置（元格致小学校敷地）

- 医療的ケア担当教員の継続的な採用（R4年度 1名）



## 2 今後の多様な学びの在り方

### (3) 誰一人取り残さない学力保障の取組

○令和3年度全国学力・学習状況調査

小・中学校（特に中学校）において

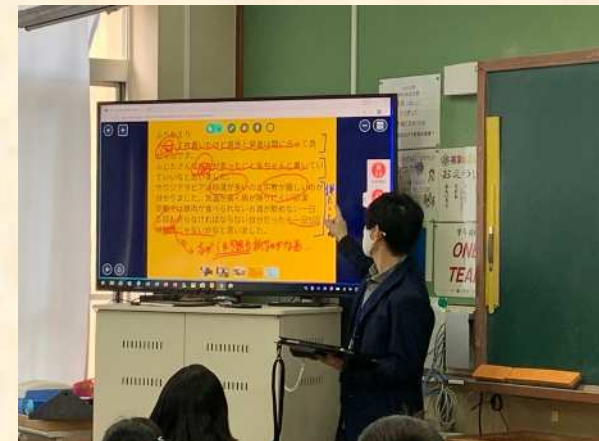
「**就援認定率が高い都市ほど 正答率が低い**」という結果

→ 親の社会経済的な地位（SES／Socioeconomic status）が、子どもの教育格差・学力格差につながっている傾向が明らかに

○本市は私学への就学や就援認定率が比較的高い中、小中とも高い正答率（小：約72.0% 中：約61.5%）

○一方，学校間・学校内で正答率のばらつきが見られる。

→ 学力差を克服するための**学力の底上げ**が課題。



SDGsの理念である「誰一人取り残さない」教育の実現